

VoicE

2013年6月1日発行 第42号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会

当院は被災地支援に積極的に参加しております。

伊藤病院 診療科部長 部長 北川 隆

◆福島県「県民健康管理調査」甲狀腺検査の県外検査実施機関となりました。

福島県では東日本大震災(当時)18歳以下だった全県民に対して甲狀腺超音波検査を実施しています。検査は福島県内において行われておりますが、福島県外に遊学している方々も多数いることから、県外でも甲狀腺検査を受けられるように全国都府県に甲狀腺検査拠点病院を置くことになりました。このたび伊藤病院は福島県「県民健康管理調査」甲狀腺検査の県外検査実施機関となりました。

◆甲狀腺超音波検査の研修を受け入れています。

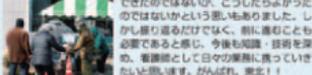
東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、小児甲狀腺癌の発生が急増され甲狀腺超音波検査の重要性が高まっております。当院は福島県および近隣の病院から甲狀腺超音波検査を中心とした臨床検査研修の依頼を受け、今年1月から臨床検査技師の研修を受け入れています。現在までに福島県南相馬市立総合病院、福島県いわき市の常磐病院、栃木県足利野市民病院的臨床検査技師の方々が研修をされました。9月から10月まで福島県のかつら中央病院、佐藤英夫さん、矢内理恵さんが研修をされました。臨床研修をされた佐藤さん、矢内さんからご挨拶をいただきましたのでご紹介いたします。

災害支援活動

心ばかりの義捐金を大震災の被災地へは、おこなくお寄せいただきありがとうございます。お礼状もお送りいたします。引き続き、ご支援をお願いいたします。

◆東電支援活動

3月21日から24日まで、宮城県で災害支援ツアーとして活動してきました。朝早くから夜遅くまで、私、伊藤 隆(院長)も参加し、被災地の支援活動を行いました。被災地では、被災者の方々が生活をしていく上で、必要な物資や物資の不足、生活の困りごとなど、被災者の方々の生活に寄り添うことが必要です。被災地では、被災者の方々の生活に寄り添うことが必要です。被災地では、被災者の方々の生活に寄り添うことが必要です。



当院は被災地支援に積極的に参加しております。

伊藤病院 診療科部長 部長 北川 隆

◆福島県「県民健康管理調査」甲狀腺検査の県外検査実施機関となりました。

福島県では東日本大震災(当時)18歳以下だった全県民に対して甲狀腺超音波検査を実施しています。検査は福島県内において行われておりますが、福島県外に遊学している方々も多数いることから、県外でも甲狀腺検査を受けられるように全国都府県に甲狀腺検査拠点病院を置くことになりました。このたび伊藤病院は福島県「県民健康管理調査」甲狀腺検査の県外検査実施機関となりました。

◆甲狀腺超音波検査の研修を受け入れています。

東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、小児甲狀腺癌の発生が急増され甲狀腺超音波検査の重要性が高まっております。当院は福島県および近隣の病院から甲狀腺超音波検査を中心とした臨床検査研修の依頼を受け、今年1月から臨床検査技師の研修を受け入れています。現在までに福島県南相馬市立総合病院、福島県いわき市の常磐病院、栃木県足利野市民病院的臨床検査技師の方々が研修をされました。9月から10月まで福島県のかつら中央病院、佐藤英夫さん、矢内理恵さんが研修をされました。臨床研修をされた佐藤さん、矢内さんからご挨拶をいただきましたのでご紹介いたします。



感謝状

伊藤病院 殿

貴団体は東日本大震災により甚大な被害を受けた被災者に、対し惜しみない支援に努められ、その功績は多大であり、他の模範とするところであります。よってここに感謝の意を表します。

平成十五年三月十一日
厚労働大臣 田村憲久

千葉県柏市で講演をいたしました。

伊藤病院 臨床検査部 部長 北川 隆
昨年の東日本大震災により、全国的に放射線量が高くなる地域があり「ホットスポット」と呼ばれます。千葉県柏市はホットスポットが複数存在することにより、地域住民の方々のために医師と柏市が連携をとり市民を今後どのように対応していくかの方向性を検討していました。そこで、千葉県柏市医師会より依頼を受け、7月30日に伊藤公一院長、北川隆診療技術部長と臨床検査技師の佐々木大司、天野高志が専門病院における甲狀腺癌の早期診断→放射線療法まで対応できる乳がんの診断を中心に「テーマ」講演を行いました。



福島県南相馬市立総合病院からの臨床検査技師の研修を受け入れました。

伊藤病院 診療科部長 部長 北川 隆
東京電力福島第一原子力発電所事故による放射線被ばくの健康調査として、18歳以下の子供を対象に甲狀腺(超音波)検査を実施しています。福島県南相馬市立総合病院から甲狀腺超音波検査を中心とした臨床検査研修の依頼を受け、本年1月から南相馬市立総合病院放射線科科長技師の藤田佳子さんが研修をされておりましたのでご紹介いたします。



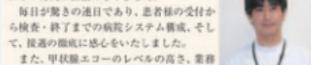
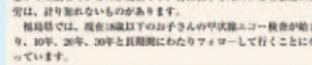
当院は被災地支援に積極的に参加しております。

◆福島県の県民健康調査に協力します。

福島県では東日本大震災(当時)18歳以下だった全県民に対して甲狀腺超音波検査を実施しています。また福島県外に遊学している方々にも甲狀腺検査を受けやすい環境を置くことに検査を受診できるように、全国都府県に検査拠点病院を置くことになりました。その検査拠点病院のひとつとして当院が推薦されました。

◆福島県南相馬市立総合病院、いわき市の常磐病院から臨床検査技師の研修を受け入れています。

当院では福島県南相馬市の南相馬市立総合病院、福島県いわき市の常磐病院から甲狀腺超音波検査を中心とした臨床検査研修の依頼を受け、本年1月から南相馬市立総合病院臨床検査科の藤田佳子さん、丸山山久さん、富田祥平さん、4月より常磐病院臨床検査部の志賀さんの研修を受け入れています。VoicE前号でご紹介しました藤田さんに続き、丸山さん、富田さんからご挨拶をいただきましたので、ご紹介いたします。



当院は被災地支援に積極的に参加しております

◆「東日本大震災における被災者の支援活動等に対する厚生労働大臣感謝状」をいただきました

このたび、伊藤病院は「東日本大震災における被災者の支援活動等に対する厚生労働大臣感謝状」をいただきました。

当院は甲状腺疾患専門病院として、東日本大震災の直後から可能な

限りの対応を行ってまいりました。震災直後には当院医師・看護師が医療支援活動へ参加し、ホームページ等を通じて独自の情報発信を行いました。さらに被災地を含めた各地の講演・勉強会・市民講座等にも積極的に出向き、甲状腺疾患や放射線の影響についてご説明しました。

また、被災地での甲状腺超音波検査について指導的立場を担っていただけるよう、南相馬市立総合病院をはじめとする医療施設から臨床検査技師の研修を受け入れるなど、継続して取り組みを行っております。これらの対応が評価され、この度の感謝状受賞となりました。

東日本大震災が発災してから2年が経過しましたが、まだまだ復興までは長い道のりの途中です。当院は今後も被災地の復旧・復興に向けた支援活動に引き続き取り組んでまいります。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

◆細野衆議院議員による勉強会を開催しました

当院では、職員教育の一環として、被災地支援に限らず様々な院内勉強会を開催しております。3月には、民主党・細野豪志衆議院議員をお招きし、ご講演をいただきました。

細野先生は、東日本大震災に伴う原発事故発生直後から、不眠不休で事故の対応を行われました。その後も、原発事故



全般についての対応と広報を担当され、前野田内閣のもとでも環境大臣、内閣府特命担当大臣(原子力行政担当)として、継続して原発事故の収束に向けて尽力されました。

原発事故と甲状腺の関係は重大なものがあります。今回いただいたご指導をもとに、私共も医療機関として精進していくつもりでございます。

講演では、原発事故について、広報担当として経験されたリスクについての説明の重要さ、難しさや、アメリカ政府との連絡調整についてなどを伺うことができ、改めて事故の重大さとリスクコミュニケーションの大切さを学びました。

◆福島県民健康管理調査への協力

伊藤病院 内科 國井葉

東京電力福島第1原発事故より2年が経過しました。チェルノブイリ原発事故後、放射性ヨウ素の内部被ばくによる小児甲状腺がんの増加が報告されています。そのため福島県では、子供達の健康を長期に見守ることを目的に、災害時0歳から18歳までの福島県民に甲状腺超音波検査を実施しています。



福島県内に居住している対象者には、福島県立医科大学のスタッフが中心となって学校や保健センター、公民館等で出張検査しています。しかし、福島県立医科大学のスタッフのみでは人手が足りないため、全国より医師と検査技師がボランティアで甲状腺超音波検査施行のために福島県に集まっているのが現状です。

私は、さる2月6日に郡山(当日の検査場所)へ超音波検査を施行しに行って来ました。高校生が対象であったため、大変スムーズに検査がすすみました。初めての参加でしたので1日70例ほどしか甲状腺超音波検査はできませんでしたが、次回6月に県民調査に参加する際はより多くの方の検査ができると良いと思っています。

当院では、福島県内の甲状腺超音波検査への協力、また現在福島県外に在住している方への甲状腺超音波検査を予約制ではありますが協力させて頂いています。

少しでも原発で拡散した放射性ヨウ素の甲状腺への影響を把握し、患者様へ正確な現状を報告できるよう努力していきたいと思っています。

病院からの おしらせ

医療の国際化に向けて

◆モナコで開催された展示会に参加してまいりました

伊藤病院 広報室 テイクン

3月22～23日にモナコ公国で開催されたIMTEC(International Medical Travel Exhibition & Conferences)展示会に参加してまいりました。

IMTECは30ヶ国以上の国から、2日間で500名を超える方々が参加された国際医療展示会です。当院では75年以上に渡り培ってきた甲状腺疾患専門診療のご紹介や、外国版のリーフレットなどを展示いたしました。

日本からの参加は今回初となり、当院以外に観光庁も参加され、日本の医療への注目は予想以上に高かったです。近年日本のみならず、世界各国でも甲状腺疾患を病む方々が増えつつあり、展示会でありながら訪れた方から診療についての具体的なご質問を多数いただきました。また、講演セッションも設けられており、伊藤公一院長が当院の診療及び日本の医療を紹介いたしました。



海外の展示会に参加する度に実感することは、海外の甲状腺を病む方々のためにも、当院の専門診療をご提供してまいりたいとのことです。

海外の展示会に参加する度に実感することは、海外の甲状腺を病む方々のためにも、当院の専門診療をご提供してまいりたいとのことです。



日本がん治療認定医機構 認定研修施設の認定を取得しました

この度、当院は日本がん治療認定医機構の認定研修施設の認定を取得しました。

がん治療認定医には、外科治療・薬物治療・放射線治療など、それぞれの専門医療に必要な知識と実際に治療を行う技術が求められます。

認定研修施設は、認定医がこれらの知識・技術、そして心構えを習得するため、がんの患者様に対応出来る入院設備、外来診療設備、検査設備が機能的に整備され、患者様とのコミュニケーション

◆上海で開催された展示会に参加してまいりました

伊藤病院 広報室 テイクン

4月2日～4日まで中国上海で開かれたSMTS(Shanghai Medical & Healthcare Tourism Show)に参加してまいりました。

SMTSは、アジアを中心とする日本、中国、タイ、韓国、マレーシア、インドなどを含めた20ヶ国以上の国から、先進医療とメディカルツーリズムに積極的に取り組んでいる医療施設、医療メディアなどが出展した大規模の展示会です。

3日に渡る展示会は各国多種多様なブースが設けられ、訪れた方も大勢いました。その中でも一際目立ったのは、75年以上に渡り甲状腺疾患を専門に診ている世界でも数少ない当院の実績で、多くの方々から熱い関心をいただくことができました。来場者からは、海外で受診時意思疎通が一番の不安であるとの声が多かったのですが、当院では以前から既に対応してきた中・韓・ロシア語のパンフレットや病気の説明をもとに詳しくご説明し、来院時ご心配なく対応できることも紹介させていただきました。

近年、受診や検診を目的とし海外に足を運ぶ渡航患者様が増えつつありますが、当院では今までの経験と実績を活かし、今後も国内外の患者様にご満足いただける専門診療をご提供できるよう邁進してまいります。



ンを学ぶ環境が提供出来る施設として、日本がん治療認定医機構が認定しています。

がん治療は、手術に加え化学療法や放射線療法的重要性がますます高まっています。当院でも、より優れたがん治療をご提供出来るよう取り組んでまいります。



伊藤院長が北海道甲状腺セミナーで講演しました

3月16日に札幌市で開催された「第1回北海道甲状腺セミナー」におきまして、伊藤公一院長が「臨床検査で分る甲状腺疾患～パセドウ病、橋本病、甲状腺乳頭癌～」をテーマに講演しました。

講演では、甲状腺疾患全般にわたり、発見から診断・治療までを症例を交えてご説明しました。特に甲状腺腫瘍については、超音波検査で悪性を疑うべき画像とともに、良性・悪性の診断上で重要となる腫瘍細胞を直接採取する穿刺吸引細胞診の検査風景を動画を交えて詳細にご紹介いたしました。

このセミナーは北海道医師会の生涯教育講座にも指定されており、会場には医師をはじめ医療従事者なども参加されました。



杉野副院長が道南甲状腺疾患懇談会で講演しました

北海道函館市で開催された第2回道南甲状腺疾患懇談会で、杉野副院長が甲状腺結節をテーマに講演しました。

当院にいらっしゃる患者様の半分は他の医療機関からのご紹介ですが、甲状腺結節の方はパセドウ病・橋本病よりも多く、全体の45%を占めています。甲状腺結節については関連学会から診療ガイドラインも発刊されておりますが、講演ではさらに踏み込んで、検査・診断・治療方法について、実際の検査画像などを示しながらご説明しました。

通常、甲状腺結節があっても甲状腺機能は正常なことが多いため、血液検査だけでなく超音波検査で甲状腺結節の形をみるのが重要です。その上で良性なのか悪性なのか、結節の細胞を直接採取する細胞診検査を行います。超音波検査、細胞診検査と重ねていくことで診断はより正確になりますが、残念ながら数%は診断が難しい症例もあり、手術で摘出した甲状腺を病理検査して最終的な診断となります。

悪性と診断された場合の治療は、手術が基本です。再発を防ぎ、患者様への影響を最小限にとどめるため、それまでの検査結果とともに過去の診療実績に基づいて、どのような手術方法をとれば良いかを検討します。

甲状腺がんのほとんどはおとなしく、治療をおこなえば生死にかかわることは少ないがんとおっしゃるでしょう。

なお、上記のとおり、甲状腺結節は多くが無症状であるため、当院では初診の患者様には血液検査とともに、超音波検査をお受けいただいております。



甲状腺病態生理研究会が開催されました

伊藤病院 内科部長 吉村弘

2月2日に第29回甲状腺病態生理研究会が東京で開催されました。主として関東、東北地区の甲状腺専門医が甲状腺疾患の研究成果を報告する会で、若手の研究者の育成も目的にしています。今回は私が会長を務め、約80名の研究者が集まる中、12演題が報告されました。

この研究会は学会とは異なり、1演題12分という学会の約2倍の時間をかけてコメントーターが発表演題の問題点や評価すべき点を説明します。

若い医師にとってはかなりのストレスですが、自分では気がつかない点を指摘されて勉強になります。今まではコメントーターはベテランの研究者が行っていましたが、今回はこれも若手研究者にしてもらいました。発表された演題から3演題が優秀演題賞に選ばれますが、当院の小林佐紀子医師の「パセドウ病に対する同種ATD再投与における無顆粒球症の発症について」が選ばれました。



臨床検査業務委員会報告会が開催されました

伊藤病院 臨床検査室室長 宮崎直子

全国病院経営管理学会の臨床検査業務委員会第13回報告会が3月6日に「未来を見据えた検査室の構築」をテーマに開催されました。

同学会には6つの専門委員会が組織されており、臨床検査業務委員会は、臨床検査室を管理運営している臨床検査技師のマネジメント能力向上を目的として2000年に発足し、以来13年間、伊藤公一院長が委員長を務めております。

同委員会では、毎年、臨床検査室の運営に関わるテーマを設定して学会会員施設を中心に全国の医療施設に対しアンケート調査を実施し、その調査結果や分析結果を発表しています。今回の報告会では、このアンケート集計結果報告を当院臨床検査室の宮崎が担当しました。

続いて行われた特別講演では、伊藤公一院長が座長を務め、株式会社オールアバウト 代表取締役社長兼CEO 江幡哲也氏より「インターネットによるコミュニケーションの変化とビジネスイノベーション」、医療法人財団慈生会野村病院 コメディカル統括・臨床検査科長 椎津稔氏より「人材育成と収支管理」をテーマに講演いただきました。

報告会には66名の参加があり、活発なディスカッションを交えながら、より良い検査室運営について検討しました。



「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士」を取得しました

伊藤病院 臨床栄養室 高橋優香

このたび、「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士」を取得いたしました。

伊藤病院が専門としている甲状腺は、嚥下に関わる神経や筋肉に近い部分に存在し、甲状腺腫大や気管切開などにより飲み込みにくさや食事・水分によりむせやすくなる患者様がいらっっしゃいます。

私が嚥下に興味を持ったきっかけは伊藤病院に勤め、患者様から「好きなものを食べているのにむせてしまう辛い」と相談されたことがきっかけでした。

「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士」は、嚥下(食事を飲み込むごっくんという動作)に関する筋肉や神経に関すること、食事を食べ始める前の口腔ケア・嚥下訓練、姿勢・食事環境・食形態、リスク管理、評価など、広範囲に渡り学びます。

認定士を取得したことで、未然に誤嚥を防止できるよう、食形態や食事姿勢・食器などへ配慮することの大切さを知りました。また「液体と固形物の飲み込み方の違い」や「嚥下障害を疑う症状」を学び、患者様個人の状態に合わせた食形態のプランニングや、安心して退院していただけるよう退院前のお食事の相談を行っております。

チーム医療を担う医療者の一員として、嚥下・栄養に関する知識とリスク管理の知識を高め、より安全で美味しい食事の提供に努めていきたいと思っております。



先進医療推進機構の動画サイトに掲載いたしました

先進医療推進機構が運営する、優れた医療技術を紹介する動画サイト「AMPO. tv」に当院の動画を掲載いたしました。

先進医療推進機構では、優れた医療技術を動画で紹介する「AMPO. tv」を運営しています。この度、当院も甲状腺の乳頭がん治療についてご紹介する動画を掲載いたしました。

甲状腺がんの90%以上を占める乳頭がんは、他のがんに比べて進行が遅くおとなしいがんで、当院の研究では25年の生存率も95%となっています。

しかし、放置して進行すると転移したり、呼吸や発声を司る反回神経を巻き込んでしまうこともあります。しかも、パセドウ病や橋本病のような症状もないため、早期の発見には超音波検査が欠かせません。

また、治療においても、甲状腺の位置するくびには神経や血管も集中しており、手術には熟練した技術が必要です。

先進医療推進機構「AMPO. tv」
<http://www.ampo.tv/d/main>

伊藤病院フォーラムを開催しました

3月9日に第6回伊藤病院フォーラムを開催しました。伊藤病院フォーラムは当院および大須診療所職員による研究発表会で、看護師・検査技師のみならず、事務職員などが日頃の研究や業務改善についての取り組みを発表する場です。今回は140名の職員が参加し、6演題の発表が行われました。



投票の結果、下記の演題が優秀演題に選出されました。フォーラムでの発表や質疑を通してお互いの業務への理解を深め、今後も、よりスムーズな横の連携構築を進めてまいります。

最優秀演題

「当院における通訳業務への取り組み」(広報室)

優秀演題

「当院における抗がん剤暴露防止に向けた取り組み 第2報」(薬剤室)

「臨時手術対応のDVD学習の試み」(病棟)

「診察前検査に関してのアンケートを実施して～より良い診療所への取り組み～」(大須診療所)



広報室 鄭君

薬剤室 塩谷純子

病棟 阿部由美子・デュブラ尚子

大須診療所 佐々木萌子

年末年始の診療について

年末年始の休診につきまして、今年は下記の通りとなります。通常は12月30日～1月4日が休診ですが、今年は12月29日が日曜日となるため、変更させていただきます。予めご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

なお、お盆時期につきましては、例年どおりお盆休みはございません。

2013年12月27日(金)通常診療
12月28日(土)午後休診
 12月29日(日)～2014年1月5日(日)休診
 1月6日(月)通常診療

第22回臨床内分泌代謝Update 学会報告

伊藤病院 内科 吉原愛

2013年1月18日、19日と2日間にわたり、さいたま市大宮にて第22回臨床内分泌代謝Updateが開催されました。この学会では、内分泌領域全般の臨床に携わる多くの医師が全国から集結し、甲状腺・副甲状腺疾患、糖尿病、下垂体疾患、副腎疾患、骨粗しょう症など幅広い分野で活発な発表と討論が行われました。当院からは、伊藤院長、杉野副院長、吉村内科部長、大江医師、吉原が講演、発表しました。

伊藤院長は『見逃しやすい内分泌疾患、見逃してはいけない内分泌疾患』をテーマに開催された市民公開講座で、パセドウ病と橋本病について講演いたしました。杉野副院長は結節性甲状腺腫の診断について講演し、超音波所見、細胞診を用いた診断の流れと、診断の難しい濾胞性腫瘍の取扱いについても言及いたしました。大江医師は甲状腺に硬化性粘膜炎上皮癌(SMECE)とMALTリンパ腫が併発した1例を報告しました。このように2つのがんが併発することは非常にまれで、当院での診断・治療をどのように進めたかご紹介しました。私(吉原)は、吉村部長の座長でパセドウ病と奇形についてお話させて頂きました。パセドウ病は、若く妊娠適齢期の年代に多いため、すみやかに甲状腺機能が正常に落ち着くよう治療する必要があります。お薬の治療の良い点、悪い点、優先事項と留意事項を考慮し、治療法を選択していくことが重要です。

日々、医学は進歩しております。当院から情報発信するとともに、新しい知見を得て今後の診療にいかしてまいります。



吉村内科部長が多摩産産期研究会で講演しました

東京産婦人科医会主催による多摩産産期研究会(第1回)が、2月28日に立川グランドホテルで開催され、吉村内科部長が「妊娠と甲状腺」をテーマに、妊婦の方への甲状腺疾患診療や甲状腺ホルモンと胎児の関係について、当院での取り組みを紹介いたしました。

血液中の甲状腺ホルモンは、新陳代謝を促進する働きをしており、増えすぎたり足りなくなることがないよう、甲状腺刺激ホルモンによって調節されています。

また、甲状腺ホルモンは、胎児や子供の発育や発達などにも大きく関わっており、特に胎児は甲状腺ができる前は自分で甲状腺ホルモンを分泌できないため、母親の甲状腺ホルモンに依存するので、妊娠中の方は甲状腺ホルモンの必要量が30%~50%ほど増加します。そのため、甲状腺機能低下症の方は内服量の増加が必要になる場合があり、甲状腺機能亢進症の方も母体や胎児への影響がないよう、妊娠週数に応じて甲状腺ホルモンを調節することが重要となります。(Voice41号の「橋本病と妊娠」にも詳しい説明を掲載しています)

甲状腺機能が安定しない状態ですと、妊娠しにくかったり、流産しやすいことが報告されていますが、当院でも通院されながら妊娠・出産されている方もたくさんいらっしゃいます。妊娠前から定期的に検査し、きちんと治療することが重要ですので、妊娠のご希望がある場合は主治医にご相談ください。



伊藤病院研究会を開催しました

2月16日に第44回伊藤病院研究会を開催しました。この研究会は、当院の日頃の臨床研究の成果を当院内外に発信する会で、発表内容は甲状腺診療の分野で大きな関心を持たれております。



今年は、関谷健一医師が「パセドウ病長期観察の臨床的特徴～伊藤病院のデータを紐解いて～」、吉原愛医師が「無機ヨウ素による妊娠中及び産後パセドウ病管理」をテーマに発表いたしました。

今回も、全国各地から100名を超える甲状腺診療に関わる医師が参加され、両医師の発表後には活発な質疑が行われました。



関谷健一 医師



吉原愛 医師

伊藤病院 連携施設 大須診療所からのお知らせ

ココカラウィメンズクリニック 伊藤加奈子院長に講演頂きました

大須診療所 事務長 高田博史

大須診療所では、職員の知識、技能向上のために定期的に勉強会を開催しております。

5月9日の勉強会では、ココカラウィメンズクリニック 伊藤加奈子院長をお招きしてご講演いただきました。同クリニックは、名古屋市東区で女性のために婦人科全般にわたる医療を提供されており、伊藤加奈子院長ご自身も昨年9月に出産され、育児をしながら診療されています。また、名古屋ピンクリボンフェスタ実行委員長を兼任、乳がんや子宮がんの検診運動にも精力的に取り組まれております。



伊藤加奈子院長

講演では、現代の女性はライフステージの変化によりホルモンバランスが崩れ、健康問題を引き起こすことが多くなっていることや、晩婚化や妊娠率の低下などが月経困難症・子宮筋腫や卵巣がんのリスクとなっていること、またこれらが増加傾向にあることなどをデータを用いてわかりやすく説明されました。

また、若い女性でも乳がんや子宮頸がんの発症率が高くなってきているため、検診の必要性を思春期から啓蒙していきたいとのことでした。

甲状腺疾患専門の当診療所には、多くの女性患者様がいらっしゃいます。今後もこのような機会を設けて女性特有のご病気やライフスタイルへの理解を深めていきたいと考えております。

楢院長が薬剤師会研修会で講演しました

大須診療所 事務長 高田博史

4月25日に開催された津島海部地区薬剤師会研修会で、楢院長が講演しました。

津島海部地区は、名古屋市内から車で30分程西方面へ離れておりますが、多くの患者様をご紹介いただいている地域でもあります。講演会は午後8時からと遅い時間からの開催でしたが、予定を上回る約60名の薬剤師の方々が参加されました。

薬剤師が処方せんから得られる情報は限られており、疾患の詳細を把握することが難しいため、今回の講演では甲状腺疾患全般について具体的な症例や、診断フローチャートを用いてわかりやすくご説明しました。参加者からは、医師の処方の意図を理解するのに大変役に立つとのことご意見をいただき、好評のうちに終了となりました。



ISO9001再認証で更なる質向上の確立

伊藤病院 ISO事務局 岩橋靖



ISOとは、国際標準化機構という団体の名を指し、国際的に通用する規格の制定を行っています。ISOにはさまざまな規格がありますが、ISO9001は「品質マネジメントシステム」のことで、製造業などの一般企業ではよく知られており、普及も進んでいます。医療機関がISO9001を取り入れる目的は、患者様やご家族の皆様の満足度向上のために、より安全で質の高い医療サービスの提供をマネジメントする仕組みを作るためです。そのためには、この目的に向かって各部署が横断的に関わり合いをもっていく必要があり、認証を受けている病院は現在143施設となっています。

当院では2010年5月にISO9001の認証を取得し、「伊藤病院品質方針」のもと、院内全体で「顧客重視」「法規制の遵守」「継続的改善」などを重点においた取り組みを行っています。

今回、運用開始から3年が経過し、当院の「品質マネジメントシステム」が業務の質の向上（顧客満足、品質パフォーマンス、事業計画遂行能力等々）に寄与しているかなどの視点で3月7・8日の2日間にわたって認証の更新審査が行われました。

結果、不適合の指摘はなく、当院の取り組みを高く評価していただき、認証を継続することができました。

引き続き、3年後の2度目の再認証に向かって益々洗練された組織体制を構築し、より安全で質の高い医療提供を目指して、患者様の満足度向上に取り組んでまいります。

講演の最後には、甲状腺疾患について理解を深めていただく場があれば積極的に参加し、皆様のお役にたてるよう精進していきたいとの想いをお伝えいたしました。

伊藤病院1Fに当診療所への直通電話を設置しております。
ご質問などございましたら、お気軽にお電話ください。

大須診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須4-14-59

電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308 HP：http://osu-shinryoujyo.jp/

表参道寄り道スポット

キューピー3分クッキング 南青山三丁目キッチン

【キ】キューピー3分クッキング 南青山三丁目キッチン』は、2013年3月1日に246COMMON Food Carts&Farmer's Marketにオープンしました。



こちらは「キューピー3分クッキング」

の放送開始50周年を記念してオープンした1年間の期間限定ショップで、番組で放送されたレシピをベースに開発した様々なオリジナルメニューを楽しむ事ができ、番組らしい「旬の食材を活かしたメニュー」を踏襲し、季節ごとに入れ替わるシーズンメニューを中心に、野菜をたっぷり食べる事ができる料理が用意されています。

ランチメニューはスパゲッティ、カレー等があり、セットはサラダとドリンクが付いていて、プラス200円でデザートをつける事もできます。

お惣菜等も盛られているセットのサラダプレートはテーブルにセッティングしてあるキューピー人気商品のマヨネーズやドレッシングをお好みで試すことができ、さらに一部の商品をご自宅、おみやげ用に購入することも可能です。

6歳未満のお子様まで注文できる「お子様ランチプレート」には、ミニサイズのキューピー人形がついており、お子様連れの方に嬉しいサービスです。

2014年2月28日までの期間限定ではありますが、なかでも3ヶ月ごとにメニューが変わる「食卓の人気者シリーズ」特集が注目です！

世相を反映してレシピを変化させてきた家庭料理を特集しており、6月からは「カレー」特集です。

14時からのティータイムには成城マルメゾンの大山栄蔵氏とのコラボレーションによる「こだわり卵のカスタードブディング」「こだわり卵のしっとりロールケーキ



<50周年記念キャラクターおもてなしママキューピーグッズ、オリジナルラベル商品>
 ・人形(赤・黒2タイプ)：各¥2,500
 ・オリジナルマグカップ(赤・黒2タイプ)：各¥1,000 など

キ」などが魅力的です。ドリンクも「フロズン・キャラメル・ミルクセーキ」「ミックス・ベリー・パンチ」など、スイーツ感覚で楽しめるものもあり、時間帯を変えて何度も来なくなるお店です。

是非足を運んでみてはいかがでしょうか。

また、店内には50周年記念の商品やグッズもあり、お一人様10個まで購入可能な焼き菓子「たまどれーぬ」や、「たまごサブレ」、愛らしい人形(赤・黒2タイプ)など、表参道にいらした際には是非立ち寄りたいた魅力的なもののばかりです！



お店の方から一言

「キューピー3分クッキング」の世界を楽しむわっていただけるお店です。スタッフが心を込めてつくった“愛情手料理”をぜひ食べるにいらしてください。お店には番組スタジオを再現した1/20のジオラマや50年の歴史を振り返ることができるキャラクターもありました。ゆっくりとご覧頂ければと思います。

Lunch Time(11:00-14:00)

「食卓の人気者」特集メニュー(3ヶ月ごとに変更)、その他旬の食材を活かしたオリジナルスパゲッティ、カレーなど

Tea Time(14:00-17:00)

お菓子の名店「マルメゾン」とのコラボレーションによるオリジナルスイーツ、オリジナルドリンクなど

Dinner Time(17:00-22:00)

「キューピー3分クッキング」の番組で放送されたレシピをベースに開発した様々なオリジナルメニュー(アルコール、おつまみも多数あり)など

店名 キューピー3分クッキング 南青山三丁目キッチン
 住所 〒107-0062 東京都港区南青山3丁目13
 TEL 03-5785-2765 (お店の予約は受け付けておりません)
 HPアドレス <http://www.kewpie.co.jp/3min50th/kitchen/>
 営業期間 2013.3.1~2014.2.28
 営業時間 11:00~22:00 (L.O. FOOD/21:00 DRINK/21:30)
 (Lunch Time/11:00-14:00 Tea Time/14:00-17:00
 Dinner Time/17:00-22:00)

席数 80席
 1階:16テーブル44席 2階:11テーブル36席(+テラス:3テーブル12席)
 定休日 年末年始を除き年中無休

基本
DATA

心電図とは心臓の電気現象の時間経過を示すものです。P波とQRS波とT波が主な波形です。(図1)心電図検査は両手足と胸に電極を当てて測定する簡単なもので検査に伴う苦痛はなく、その場で見る事が出来るので心臓の状態を診断する上で非常に役に立ちます。心臓には4つの部屋(右心房、右心室、左心房、左心室)がありそれぞれの部屋は電線で結ばれています。(図2)これは心臓を開いた時の模式図で黄色の線が4つの部屋を繋ぐ電線です。赤い所がリズムを作るペースメーカーでその命令は心臓全体に伝わります。

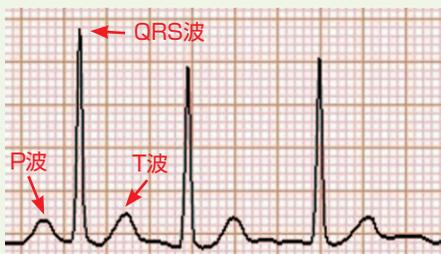


図1

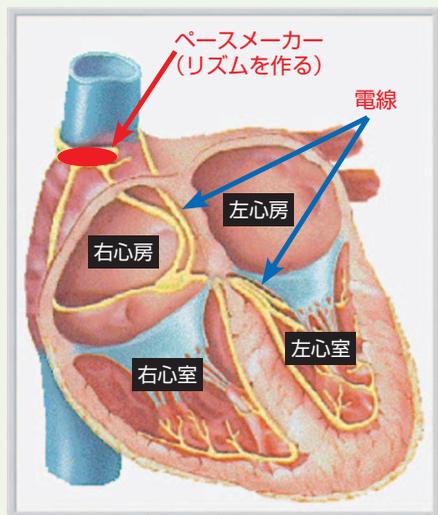


図2

1)心電図でわかること

- 心臓のリズムの異常：1分間に60回とか90回というような心臓の鼓動の速さやリズムの乱れ(不整脈)を診断できます。電線の通りが悪くなったり切れたりするのを見つけられます。
- 心臓の肥大や電気現象の異常：右心房、右心室、左心房、左心室それぞれの部屋の肥大・拡大や異常をP波とQRS波とT波の形の変化から診断できます。
- 心臓に栄養を送る冠動脈の情報：冠動脈が動脈硬化によってつまると心筋梗塞になりますが、その診断に必須の検査です。つまってはいないが血管が細くなったために胸が痛い時(狭心痛)にも異常を示します。
- 心臓弁膜症や先天的に心臓の壁に穴が空いている場合：それらによって心臓の肥大や拡大が起こると心電図に現れます。

2)心電図に異常があっても心配のないことが多い

- リズムの異常(不整脈)があっても期外収縮とよばれるもの(図3)は心臓のシャクリのようなものでほとんどの場合問題ないものです。(ご自分でドキンと感じて違和感がある方もいますが全く自覚しない方もいます。)また電線の一部が通りにくくなっている(心電図の診断で右脚ブロックとか左脚ブロックと言われる)場合も多くは問題ありません。いずれも甲状腺との関連は少なく元々あったものです。

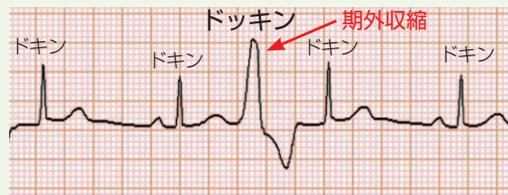


図3

3)治療が必要な不整脈もあります

- 心房細動と呼ばれるリズムが全く不規則になる不整脈(図4)は動悸があることや脳梗塞の原因となり治療が必要です。パセドウ病などでホルモンが過剰なときに起きやすく当院で甲状腺治療と共に処置が出来ます。
- 電線が完全に切れてしまう房室ブロックやペースメーカーがリズムに命令を出さなくなると心臓は非常に遅くなり大変です。それほど多い異常ではありませんが循環器の病院に紹介することになります。

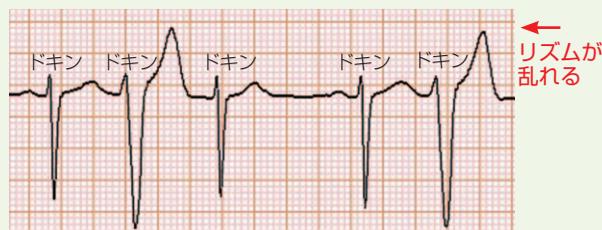


図4

4)受診時以外の日常生活

日常生活に出現する異常を見つけるためにホルター心電図という、帰宅後24時間心電図をとり続ける心電図もあります。当院で可能です。

5)心電図異常があるといわれたら

当院では心臓の収縮を評価できる心臓のエコー検査が可能です。年齢が高い方や高血圧のある方では心電図とともに施行して治療の方針を決めるバックアップシステムが出来ています。

注意事項

ご家族を含めた周囲の方々への放射線被ばく量が問題なくなるまで、治療用カプセル服用からAおよびBの注意事項をお守りいただきます。

A:ご家庭での注意として4日間お守りください(6番目は1週間お守りください)。

- 1) 必要以上に出歩かない。
- 2) 一人で寝る(むりな場合は、隣の人との距離をおく)。
- 3) 入浴は最後にする。
- 4) トイレ使用後は、よく水を流す。
- 5) よく手を洗い、清潔を心がける(米とき、調理などもこれで心配ない)。
- 6) キス、性交、長時間の身体の接触は避ける。

B:乳児・幼児・学童・妊婦との接し方(治療の量により1~2週間お守り頂きます)

- 1) 必要な世話はよいが、直接触れ合う時間は短くする。
- 2) 15分以上の添い寝や抱っこは避ける。
- 3) 自分の口に含んだものは食べさせない。

治療の量により制限日数が変わります。治療日に詳しく説明します。

一時的に守れない項目があったとしても、問題はまずありませんのでご安心ください。

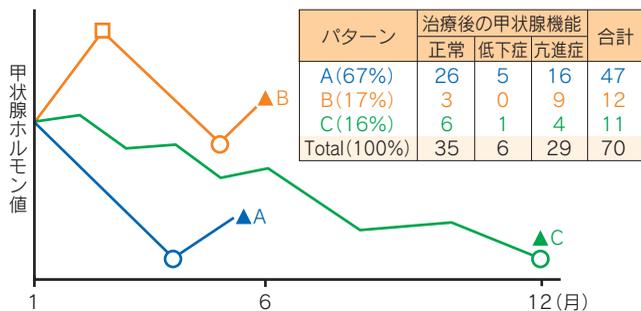
投与します。2日目の治療は放射線摂取率の測定があるため、全部で1時間半から2時間ほどかかります。治療後、放射線の量により生活制限期間が変わります。

放射線治療は、治療後すぐに甲状腺機能が改善して内服が中止になるわけではありません。早い人ですと、半年くらいで薬が中止できますが、2年くらいかかる方もいらっしゃいます。

甲状腺の大きさは、とても硬い方をのぞけば、2週間から1ヶ月で自覚できるほど縮小します。(図2)

(図2)

¹³¹I放射線ヨウ素内用療法後の甲状腺機能の変化



放射線治療後、女性の方には1年間避妊をして頂くよう説明しています。卵子の被曝の面からは4ヶ月でよいのですが、妊娠中には甲状腺機能を安定させたいので、甲状腺機能が正常化することも含め1年待って頂いています。

男性には精子の被曝の面から6ヶ月避妊を説明しています。

バセドウ病の放射性ヨウ素治療は1942年より米国で始まり、1955年から伊藤病院でも行なっています。これは確立された治療の1つであり、安心して行うことができます。しかし、日本では成長期である18歳以下の方には、甲状腺腫瘍の頻度を上げる可能性がある

病院からの おしらせ

明治神宮参拝

4月9日に職員全員で明治神宮に参拝してまいりました。

当院の位置する表参道は、その名の通り明治神宮の参道です。昭和34年以来、毎年明治神宮に患者様と職員の健康と安全を祈願することが大切な病院行事の一つとなっています。

明治神宮は初詣で日本一の参拝者が集まることで有名ですが、6月中旬にちょうど見頃となる花菖蒲や清正の井戸などの見所も盛りだくさんです。ご来院の前後に足を運ばれてみてはいかがでしょうか。



渋谷表参道Women's Runに参加しました

女性限定のマラソン大会「渋谷表参道 Women's Run」が今年も3月3日に開催されました。普段はランニングが禁止されている明治神宮や、交通規制された表参道を走ることが出来るため大変人気があり、今年も4000名近くの女性ランナーが参加しました。



アップダウンのある10kmのコースですが、当日は薄曇りで雨も心配される中、カラフルなランニングウェアを着た女性ランナーが伊藤病院前で折り返して走り抜ける光景はまさに圧巻でした。

当院からも8名が参加し、初出場者を含め全員が無事完走しました。

ため原則として行っていません。

治療方法(表1)は、残念ながら選択肢がない場合もありますが、多くの場合選ぶ事ができます。どんな治療方法があるかを知って頂き、相談しながら決めて行きたいと思います。

入院セットのご案内

以前よりご要望をいただいておりますが、ご入院される際のパジャマのレンタルを5月2日から開始いたしました。パジャマとともに入院時に必要な物をセットにした「入院セット」としてレンタルしています。

入院セットに含まれるものは下記のとおりです。

入院セット 400円/日(税込)

- ・前開きパジャマ
- ・バスタオル
- ・カラーコップ
- ・BOXティッシュ
- ・フェイスタオル
- ・歯ブラシ
- ・歯磨き粉(20g)



※スリッパは含まれません。



お申込み方法

- ・手術でご入院の方 手術前外来時、4階ナースステーションに申込み用紙を提出してください。
- ・手術以外でご入院の方 入院申込書と一緒に郵送ください。

なお、お電話での申し込みはお受けできません。お支払いは、後日ご自宅に請求書が郵送されますので、コンビニもしくは銀行振り込みでお支払い下さい。

A1 出口エレベータがご利用できます

当院はす向かいのハナエ・モリビル跡地に建設が進められていた「オーク表参道」が4月4日にオープンしました。

コーチ、エンポリオアルマーニといったブランドショップや料亭「金田中」が運営するカフェ「茶洒金田中」などが集まる商業施設ですが、地下鉄表参道駅と直結しており、エレベータやエスカレータもご利用いただけます。

これまでエレベータは青山通りを越えるB3出口にしかごさいませんが、A1出口近くにエレベータが出来たことで、ご利用しやすくなりました。



外来担当医師の予定表について

当院ホームページにおきまして、外来担当医師の予定表をPDFファイル※で掲載しております。

「月別予定表」では、当月・翌月の医師の外来予定について、休診等も反映しております。また、「曜日別予定表」及び「医師氏名別予定表」では、曜日ごと、医師ごとに外来予定をご確認いただけますが、一時的な変更・休診等につきましては、「月別予定表」をご覧ください。

なお、変更がある場合には、その都度「月別予定表」や同ページの「今月の注意事項」に記載を行っておりますが、いずれも予定が急遽変更となる場合がございます。申し訳ございませんが、ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

担当医師のご案内

トップページ→担当医師のご案内



各ページの左にある
外来診療担当予定表



※PDFファイルをご覧いただくには、Adobe社のAdobe Readerが必要になります。お持ちでない方は、Adobe社のWebサイトから最新のAdobe Reader(無料)をダウンロードしてください。

今年も徐々に暑くなってきています。

毎年暑くなると話題にのぼるのが熱中症ですね。特に2011年の東日本大震災に伴う節電励行以降注目されています。2012年度の統計を見ると、2012年5月1日～9月30日の間に23区内で熱中症で救急搬送された患者の数は2182人で、人口100万人あたりでみると243.9人でした。軽症で自力で病院へ行った人、病院へ行かずに改善した人も考えるとかなりの数に上ることが推測されます。

気象庁の長期予報では今年の夏も平年並みかそれ以上に暑くなる確率が80%(2月25日発表)とのことで、注意が必要なようです。

そもそも熱中症とはなんのでしょうか？

環境省のホームページを見ると…

- ・ 高温環境下で、体内の水分や塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。
 - ・ 死に至る可能性のある病態です。
 - ・ 予防法を知っていれば防ぐことができます。
 - ・ 応急処置を知っていれば救命できます。
- と書いてあります。

すなわち、知識がとても大事ということです。

熱中症にはどのような種類があるのでしょうか？

「熱射病」「熱けいれん」といった言葉を以前に良く耳にしましたが、最近はあまり聞かなくなりました。実はこれらは熱中症の分類名の一つだったのですが、分類が変更になり現在はⅠ～Ⅲ度に分けられています。

右表の通り重症度分類を示します。

Ⅲ度では死亡率50%とも言われています。

基本的にはいきなりⅢ度になることは無く、Ⅰ、Ⅱ度を経て徐々に重症化します。

重症化する前に治療を行うことが必要です。

熱中症は高温多湿な環境下で起こりやすいといわれています。

そこに体調が良くない、暑さに体がまだ慣れていないなどの個人の体調による影響とが組み合わさることにより、熱中症の発生が高まると言われています。

また屋外で活動しているときだけでなく、就寝中など室内で熱

中症を発症することもあります。

予防策として

1. 体調を整えましょう。

睡眠不足や風邪気味など、体調の悪いときは暑い日中の外出や運動は控えましょう。

2. 服装に注意しましょう。

通気性の良い洋服を着て、外出時は帽子をかぶりましょう。

3. こまめに水分補給しましょう。

のどが乾いたと自覚するときにはすでに水分不足となっていることが多いです。

定期的に少しずつ水分補給をしましょう。また、汗をかくと塩分も失われていきます。そのような時はスポーツドリンクがおすすめです。

4. 個人差を考えましょう。

子供や高齢者は熱中症になりやすいです。

また暑さの感じ方には個人差もあります。周りの人が暑がっていないくても我慢せず、冷静に自分の体調を判断しましょう。

月別にみると7月が949人、8月が994人でその2カ月だけで実に90%近くになります。

すなわちこれからが熱中症のシーズンの本番です。

正しい知識と予防策をもって、楽しい夏を過ごしましょう。

重症度分類	旧分類	症 状	治 療
Ⅰ度	熱失神 熱痙攣	こむら返り 四肢・腹筋の痙攣 血圧低下 皮膚蒼白 体温正常 発汗あり	クーリング 経口補液 経口困難な場合は点滴
	Ⅱ度	熱疲労	強い疲労感 脱力感 頭痛 めまい 39度までの体温上昇 発汗あり
Ⅲ度		熱射病	意識障害 全身のけいれん 肝機能障害 凝固能障害 深部体温で39度以上 (わきの下でも38度以上) 発汗なし

入職1年生から発信 部署のご紹介

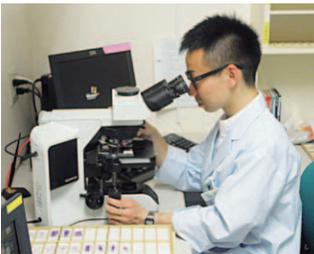
「各部署のご紹介」として、2011年携わってきた業務を簡単に紹介させていただきます。前回に引き続き、6月号は臨床検査室・事務室をご紹介しますので、ご覧ください。

臨床検査室

伊藤病院 臨床検査室 畑田和哉 黒須美紀

2011年春に入職した黒須・畑田と申します。私達は臨床検査技師として3年目を向かえることになりました。

仕事ではまだまだ学ぶ事が多々ありますが、将来は甲状腺疾患の専門技師になるように日々努力しております。今回は私達が所属している臨床検査室の3つの部門について紹介させていただきます。



・検査21 (採血・採尿検査)

採取した血液や尿から、患者様の体の状態を調べています。検査項目は、甲状腺ホルモン・肝機能・腎機能など多岐にわたっており、検査結果は採血後約1時間でカルテに反映されるシステムになっています。

・検査22 (超音波検査、心機能・呼吸機能検査)

甲状腺の腫れやしこりの有無を調べ、大きさや形状などを写真にとり医師に報告しています。その他心エコー検査・心電図検査・呼吸機能検査なども行っています。

・病理検査室(細胞診・病理診断)

エコー下穿刺吸引細胞診や手術で得られた検体からプレパラート(顕微鏡で観察する為のガラス標本)を作製しています。病理診断医が組織や細胞の形態から良悪性を診断し、細胞診は1週間後、手術検体

は約3週間後、患者様に結果をお伝えしています。

私達はこれからも正確かつ迅速に検査結果を提供できるよう日々努力してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

私の趣味は、週一回のバレーボールの練習に参加することです。伊藤病院には職員で結成したバレーボール部があり、私は入職一年目に同じ部署の先輩に誘われ、練習はた事がきっかけで入部しました。練習は週一回、神宮前小学校にて職員どうし皆で楽しく行なっています。仕事あがりで練習はきついと思われるかもしれませんが、私にとっては適度な運動と流す汗が、最高のストレス解消です。皆さまぜひ、体を動かしてリフレッシュされては如何でしょうか。(畑田)

事務室

伊藤病院 事務室 井上愛美

一昨年4月に事務室に入職しました井上と申します。

早いもので3年目になりますが、事務室の業務はととても多岐にわたり、発見の毎日です。

では、事務室ではどんなことをしているのか、少しご紹介させていただきます。

病院で事務の業務をしているというのと、どうしても医療事務のイメージが強いのですが、当院の事務室とは、一般企業という総務にあたり、現在は7名の職員で構成されています。主な業務内容は大きく分けて、人事・総務・購買・役務の4種類です。

まず人事としては、入職手続きに始まり、社会保険や給与・年末調整の手配、日々の勤務状況の把握などを行います。次に総務としては、郵便物の仕分け・配布や決算業務などがあります。

購買はその名のとおりですが、病院ではコピー用紙のような身近な物をはじめ医療機器などさまざまなものがあるので、それらを購入することが適切かどうかの判断もします。

最後に役務ですが、物品の購入先業者や院内清掃などの委託業者との関わりがうまくとれているか、などを管理します。

また、院内設備の管理も事務室のお仕事です。来院された際、設備等に何か問題を感じましたら「患者様ご意見箱」にてご連絡いただければ、出来る限り患者様にご不便をかけないように事務室一同、精一杯の対応をさせていただきます。

患者様と直に接する機会はあまりございませんが、職員が医療サービスのご提供に全力を注げるような環境作りを心がけてまいりたいと思います。

私の趣味は音楽です。7歳でピアノを始め、中学高校ではマンドリン部に所属しクラシックギターを、大学では軽音楽部でベースを弾いていました。演奏するだけでなく観るのも好きで、大きなコンサートやフェスティバル、小さなライブハウスなどジャンルを問わず足を運びます。その度にまだ知らない音楽に出会えることがなよりの楽しみです。



表紙no写真

Voice夏号いかがでしたでしょうか。

まずはじめに、「表参道ランチ&グルメ」がお休みとなってしまったことについて、お詫び申し上げます。毎号楽しみにされている方も多く、広報誌委員もはりきって取材をしたのですが、残念ながら急遽閉店されることとなってしまいました。

さて、今回の表紙は東日本大震災への支援活動について、厚生労働大臣よりいただいた感謝状を掲載しました。改めて、職員一同支援活動を続けていくことの大切さを実感しております。不安を抱えて生活していらっしゃる多くの方々のためにも、当院は甲状腺疾患専門病院として可能な限りの対応とVoiceでの情報発信を行ってまいります。



1Fに掲示いたしました

編集後記

Voice夏号を手にお取り頂きありがとうございました！今回のVoiceはお楽しみ頂けましたでしょうか？

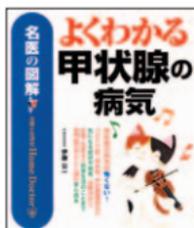
私がVoiceの編集に携わらせて頂く事となり、3年目となりました。Voiceから学んだ事、得た情報がたくさんあったと感じております。皆様にも多くの為になる情報がお伝え出来ていたら幸いです。

これからもVoiceを読んでもくださった皆様に喜んで頂ける様な情報、為になる情報をお届け出来る様努力して参りたいと思います。

これから暑くなっていますが、体調を崩される事ありませんようにお気を付け下さいませ。

(上野)

甲状腺疾患書籍のご案内



「よくわかる 甲状腺の病気」

著者：伊藤公一
定価：1,360円(税込)
発行：主婦と生活社



「甲状腺の病気」 速やかな回復のための最新知識

監修：伊藤公一
定価：1,360円(税込)
発行：法研



「甲状腺の 病気の治し方」

監修：伊藤公一
定価：1,260円(税込)
発行：講談社



「甲状腺の病気の最新治療 パセドウ病・橋本病・ 甲状腺腫瘍ほか」

監修：伊藤公一
定価：1,470円(税込)
発行：主婦の友社



「図解 甲状腺の病気が よくわかる 最新治療と正しい知識」

監修：伊藤公一・高見博
定価：1,470円(税込)
発行：日東書院

新刊

★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご活用ください。

発行 2013年6月1日発行 第42号 伊藤病院広報誌委員会

ITO
HOSPITAL
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6

TEL : 03-3402-7411

FAX : 03-3402-7415

URL : <http://ito-hospital.jp>